

5月8日から新型「コロナウイルス対策が 変わりました

新型コロナウイルス感染症が国内で流行を始めて3年以上が経過しました。この間に多くの人が感染し、多くの人命が失われ、経済・社会も深刻な打撃を受けました。

当初は新しいウイルスのため、予防方法や治療方法も確立していませんでしたが、次第に感染のメカニズムや予防方法、治療方法もわかってきた今、5月8日から「感染症予防法」における位置づけが、強い感染対策ができる「新型インフルエンザ等感染症」から、インフルエンザと同じ「5類感染症」に変更となりました。

位置づけが変わることで私たちの生活に様々な変更点がありますので、その一部を紹介いたします。

マスク

3月13日から着用は個人の判断となりました。ただし、高齢者施設を訪れるときや、事業所等の判断でマスクの着用を求められた時にはご協力をお願いします。

検査・治療・入院

これまでは無料（公費負担）でしたが、一部を除き個人負担となりました。

療養期間

法律に基づく外出自粛はありませんが、発症翌日から5日間、かつ症状が軽快し24時間が経過するまでは無理をせず、出勤や登校を控えて自宅で安静に過ごしましょう。

また、発症翌日から10日間は高齢者等ハイリスク者との接触を控え、不織布マスクを着用しましょう。

濃厚接触者

濃厚接触者の特定は行わないため外出自粛もありませんが、同居家族等に陽性

が判明した場合、特に5日間はご自身の体調に注意してください。

無料PCR検査

一般の人を対象とした無料PCR検査は終了しました。感染に不安がある人は市販の検査キットで自主検査をお願いします。

ワクチン接種

令和5年春と秋に、高齢者や重症化リスクの高い人などを対象に接種を行います。その他の5歳以上の人は秋に接種を行います。費用は当面の間、無料です。



感染症予防法での位置づけは変わりましたが、ウイルスそのものには変わりはありません。免疫をすり抜ける能力が高い変異ウイルスも確認されています。引き続き感染に注意して、安全に過ごしましょう。

これからも、

・必要に応じたマスクの着用

・石鹸による手指の洗い、アルコールによる手指の清潔

・有効な換気

・三密の回避

は感染防止に有効です。

また、これまで心がけてきた「新しい生活様式」には、ほかの感染症に対しても有効なものがあります。残すべき良い生活様式は残しつつ、安全な日常生活を取り戻しましょう。



【問合せ】役場総務課

82-1111

出荷者協だより vol.09

このコーナーでは、道の駅にちなん出荷者協議会の活動をご紹介します。今回は、ご夫婦で協力して苗づくりに取り組まれている足立進也さんにお話を伺いました。



あだち しんや
足立 進也さん (阿毘縁)



Q1 どのような種類の苗を作っていますか？

春は、ピーマンやトマト、なす、キュウリなどの夏野菜を育て、夏から秋にかけては、なでしこやパンジー、ピオラ、サルビア、コスモスなどの花壇苗を栽培しています。

Q2 苗づくりのこだわりは何ですか？

ポットの中でしっかりと根を張らすことです。

Q3 初心者でも育てやすい野菜や花を教えてください。

夏野菜では、キュウリが育てやすいと思います。花は、マリーゴールドやパンジー、ピオラがおすすめです。「自分で何かを育ててみよう！」とチャレンジする気持ちがあれば、うまくいくはずですよ。

Q4 夫婦仲のよさを保つ秘訣を教えてください。

なにごともし話し、隠しごとはしないことです。言いたいことははっきり言う！同じ仕事をしているので、喧嘩をしては仕事になりません。お互いを思いやる気持ちを毎日大切にしています。

出荷者募集中！



道の駅にちなん出荷者協議会では、道の駅にちなん日野川の郷の直売所に出荷していただける方を募集しています。野菜だけでなく、加工品・工芸品なども出荷できます。出荷者協議会に新規加入していただくと、たったもカードの行政ポイントを進呈します。興味のある方はお気軽にお問い合わせください。

【入会申込・問合せ】 道の駅にちなん日野川の郷 TEL：82-1707 役場農林課 TEL：82-1114

